



CLUB OFFICE
京都YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE Y'S MEN'S CLUB OF

Kyoto Prince

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2020

5

Bulletin
2020.5.1発行
第34巻第11号通巻413号

主
題

国際会長 はい、私たちは変えることができる “Yes we can change”
アジア会長 アクション “Action”
西日本区理事 風となれ、ひかりとなれ ころろ豊かにあるために 輝くために
京都部部长 限界を超える “Y's Power? No limit!”

聖
句

キリストがわたしたちを愛して、御自分を香りのよい供え物、つまり、いけにえとしてわたしたちのために神に献げてくださったように、あなたがたも愛によって歩みなさい。
エフェソの信徒への手紙 5章 2節



「プリンスクラブ35周年に向けて」

第14代・第25代会長 森 伸二郎

今まさに、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言下、Stay Home!の日々。仕事はテレワークで、学校もオンライン授業、日々の買い物もインターネットで、ライフスタイルのネット化が加速している。この非常事態宣言が解除された後の社会は、どの様になっているのだろう。ネット化を拒んできた抵抗勢力が、一気に払拭される事が予想できる。テレワークの障害の一つであるハンコ文化が一掃され、ドキュメントは紙からデータへと一気に進むだろう。

ワイズ歴30年。私が入会した当時は、例会等の出欠回答は、往復はがきで。しばらくしてファックスに代わり、インターネットの普及と共にクラブのホームページを開いて出欠回答。ブリテンも当時は、原稿用紙に書いて投稿。印刷屋さんを持ち込んで紙面で発刊されて例会時に配布。パソコンの普及に伴い、原稿も一太郎やワードで作られ、ホームページ上にHTMLページとして作成して掲載。それを印刷して例会時に配布。その後ブリテンはPDF化されるも依然として例会時での配布が続き、メンバー全員がスマホを使うようになった今、メールに添付しての配布となっている。

私が区の書記をやっていた15年前は、理事通信をはじめ区からの連絡物は、毎月の定期発送で送られていました。今では、理事通信も連絡物もPDF化されて、随時メールに添付して送られてくる。その当時は、パソコンや携帯電話を使えない者が、弱者にならないように配慮していたものでした。

私がワイズに在籍している30年の間に、世の中は急速にIT化が進み、人々の行動様式が変化した。それを拒んでも何も得られない。如何に受け入れるかだ。「最近の若い奴は・・・」と言う前に、なぜ彼らはそうするのかを思いめぐらす余裕が欲しい。聖書の中に「Love Your Enemy」とある。「報復する前に、自分にとって何故敵なのか」を考えなさい。そうすることで敵が敵でなくなると。

プリンスクラブが若返り、発展してゆく中で一番難しいのは、自分たちがプリンスワイズメンズクラブとして作り上げてきたポリシーを、如何に次の世代に伝えるかである。目まぐるしく変化していく今の時代に、形を変えずには無理であろう。今の時代を生きる若者が「楽しい」と思えるプリンスクラブの在り方を見つける事に努力してゆきたいと思っています。「Love Your Enemy」の心使いを忘れずに。

会長主題

守るために
変えてゆこう
少しづつ

会長	小野 敏明
副会長	廣井 武司
	今西 英隆
書記	岸 裕也
会計	飯尾 豊
ネット会長	小野 瑞穂

推薦月間

Leader Training

5月 例会案内

7日(火) 通常例会
20日(水) 通常例会
新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が、発令され、不要不急の外出自粛に努めるために、5月の例会は中止となりました。

例会出席

4月第一	--名
4月第二	--名
在籍者数	17名
メーカーシップ	0名
出席率	--%

BFポイント

切手	0pt
現金	0円
累計	16,000円

ファンド

	0円
	0円
累計	352,362円

ニコニコ

4月第一例会	0円
4月第二例会	0円
累計	51,500円

新型コロナウイルス感染拡大の第一線で働く方への感謝

CS事業副委員長 榎木 徳子

新型コロナウイルスの感染拡大はなかなか先が見えない状況で、わがクラブも、活動の基本である「会って話をする」ことが、感染拡大につながるため、ストレスがたまる(程度は個人差ありますが)日々です。それ以上に、生活に大きな影響が出ている方も多いですし、医療機関や介護施設、養護施設で働くスタッフの苦労は計り知れません。

私が働く京都市立病院はまさにその第一線で、感染症指定医療機関として、コロナ陽性となった入院患者を受け入れるとともに、救急車で運ばれる患者さんや他の病気で治療する患者さんへの対応、なかなかつながらないコールセンターからこちらにかけてきた市民やかかりつけ医さんからの相談など、普段以上に忙しい日々です。

何よりも、入院患者の看護にあたる看護師の緊張と不安は想像を超えると思います。もちろんプロですから、手順をふんで感染予防はしていますが、それでも自分がかかったら、それが他の患者や家族にうつったらという不安は、ずっともちながら看護にあたっています。

スタッフに対して何かできることはないか、一息つく時にチョコレートでもと思い、会長に相談したところすぐに賛同していただき、三役やCS委員長と調整くださいました。

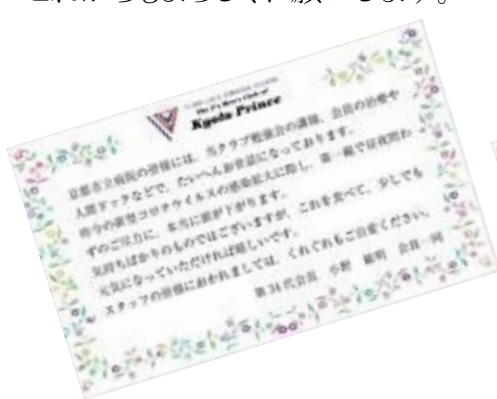
また、防護エプロンが不足し、どうしようかと思案して相談したところ、廣井ワイズが京都市立病院までかけつけ、いろいろ感染管理スタッフに提案してくださいました。

チョコレートを小野会長から看護部長(副院長)に渡す時に、いろいろな人に気にかけていただいていることがわかるだけでも、スタッフはがんばれますと言われました。

さらに、クラブで応援している「ののさん」が運営する子どもシェルター「はるの家」のスタッフも、消毒液が不足する中、京都市から逐次送られてくる施設内の感染予防方法に基づき、ご苦労されているとのことだったので、こちらにもチョコレートを送ることで賛同を得ました。

チョコレートやカードの準備には、今西ワイズや次期澤田会長がかなり尽力してくださいました。

まだまだたいへんな時期は続くかもしれません。でも、今回の活動を通じて、プリンスの心意気とつながりを強く感じました。新コロ対策委員長として、必要時情報はあげていきたいと思います。これからもよろしくお祈りします。



オンライン会議を試しました。

外出自粛GW明けの5月7日午後8時からZoomを利用したのオンラインミーティングが開始しました。今回は、役員会や例会に使えるかを見極めるお試しミーティング。

Zoomでのオンライン会議を提供してくれたのは岸ワイズ。午後8時前にログインすると廣井ワイズの顔が！次々とメンバーの顔が増えて、延べ13人が参加。榎木ワイズは声だけ。斎藤ワイズも野村ワイズも前向きに準備中との事。この日のお試しで、役員会も例会もオンラインでの開催が可能なが判明しました。



ワイズメンズクラブの向かう先 元理事にお聞きしました。

京都プリンスクラブ35周年に寄せて

第17代 西日本区理事
高瀬 稔彦 (岩国みなみ)

京都プリンスクラブの皆様、クラブ創立35周年おめでとうございます。皆様には、いつもわたしを憶えて、お声をかけてくださり大変うれしく思います。

金ピカジャケットを着たから理事ができた訳ではないでしょうが、クラブに入会できたのも会員歴13年で理事を務めさせていただいた事も偶然ではなかった気が致します。

西日本区を精力的に廻らせていただいて、とても成熟している団体だと感じました。

区大会あるいは会長・主査研修会でさえ旧交を温める雰囲気があり、その輪に入ることが叶う人には、非常に居心地の良い場所ですが、その空間に馴染めない人には、排他的な雰囲気を感じるはずで。また私たちには普通のワイズ用語も新入会員さんや一般の方には、馴染めないものです。わたしもその違和感を会長になってすぐに体験しました。

またクラブが成熟すると会員が固定化してくる傾向があります。クラブ内の役割分担も人と事業(委員会)がセットになる組織の属人化しますし、本来は崇高な目的を達するための手段であるものが、いつしか手段が目的になってしまうことがあります。

最近、ユースコンボケーションを経験した青少年は将来クラブに入会するのが当然のように語られる事がありますが、目的を見失っていないでしょうか。

特色のあるクラブが沢山存在するなかでも 貴クラブほど多彩なキャラクターが揃ったクラブはないと断言します。継続は力なりです。旧交を温め、これまでの縁を大切に守っていくことは当然として、いつも新鮮な気持ちで興味をもったことに挑戦してください。さらに新しい出逢いを大切にして相手の立場に寄り添って行動し、このクラブの世界的親睦団体たる所以をしっかりと楽しんでください。

SNSなど新たなコミュニケーション媒体が発達し、世の中は革新的な発展を遂げようとしています。わたしたちが求められるものは不変です。気付く感性と多彩なキャラクターが織りなす創造力と行動力をこれからも生かして、次代を育てていってください。

50周年に向けて、皆様のますますのご活躍とご健勝を祈念しています。

新しい仲間の自己紹介

野村 勇

2月5日 今日は私の京都プリンスワイズメンズクラブの入会式で、会場はグランドプリンスホテル京都・比叡の間で午後7時スタート。朝から何か落ち着かず、そわそわどきどき。ウエルクラブと合同での入会式との事。遅れてしまうと大変。ちょっと早い目に電車に乗り会場に着くようにしました。

ホテルに到着すると時間はまだ40分程前。誰も来られてなかったらと心配して会場に行くと、プリンスクラブの方がおられ一安心。定刻より式典が始まり、小野会長の式辞宣誓の後、ペナント&会員バッジを授与され緊張のしまくりでした。あっと言う間に終わり、歓迎の握手で祝福されて身が引き締まる想いでした。

私が京都プリンスクラブを知ったきっかけは、一年程前に閉店した際の慰労を兼ねた 遅がけの新年会を友人達が催してくれた時、スポンサーでもある飯尾ワイズから「うちのクラブに入らないか。一緒に遊ぼうよ。面白いで～」と勧誘があったのですが、その頃は一年間ぐらい何も考えず、ゆっくり疲れを癒してからと思い、又今度という感じで断っていたのですが、ゲストでサバエ開設ワーク、そして青い空と白い雲のキャンプに参加させていただき、キャンプファイヤーでのサバエ族の寸劇、子供達とのパプリカの歌と踊り、翌朝の気球体験をしている内に子供の頃 ボーイースカウトに所属しキャンプ、ハイキング、山登等、野外活動をしていた時が甦って久しぶりに楽しませてもらいました。

そして50年ぐらい前、若かりし頃には、車で走り回っていた仲間達と自動車レースを始めないかと言う事になり車のチューニング(改造)を施し、あちこち開催されているJAF主催のタイムトライアル登竜門のレースに何度か挑戦した後、国内1000km耐久レースに出場。今では良い思い出の一つです。年齢的に走ることが無理な現在、もっぱらテレビ観戦で楽しんでいます。

私事で長々と書いて来ましたが、最後に京都プリンスクラブを紹介してもらった飯尾ワイズに感謝の気持ちで一杯です。又クラブの皆様からの期待に浴える様、頑張りますので、これからも長いお付き合いの程、よろしくお願い致します。

まずは仕事のこと。現在ウェブサイトやパンフレットを企画制作する会社を営んでいます。主に企業ブランディングの企画立案や製品・サービスの広告宣伝物の制作を生業としています。

20代の初めは、たまたま参加した時代劇エキストラ(主に囚人・死体役)をきっかけに、映画やドラマで使用する小道具の製作スタッフをやっていました。劇中で使用する様々な小道具を作るのが仕事となりますが、特に印象に残っているのが墓石の制作。大きな用紙に御影石のテクスチャーをプリントし、段ボールに貼り付ければ完成。遠くから見ると本物と見間違ふほど。他には役者さんの写真入りの警察手帳、劇中で使われる新聞など、当時スタジオに導入されたばかりのMackintoshを勉強しながら、よりホンモノに見えるよう創意工夫し、製作にあたっていました。

数年勤めた映画製作会社を退職した後は、雑誌や印刷物の制作会社へ。自分がデザインした書籍が本屋に並ぶのをいつも楽しみにしていた記憶があります。とある企業の会報誌でコラムを連載させ

ていただいたのも、とても良い経験になったと感じます。8年ほど会社勤めをし、2008年に起業して現在に至ります。

なぜ起業したのかと質問されるときがありますが、今となってはなぜ起業したのか、何か理由があったのか、10年以上も前のことなので、まったく記憶にございません。ただ、だいぶとのんびりとした人間ですので、会社勤めが肌にあわなかったのかなあと。

自分のこと。先述の通りのんびりしています。良くも悪くも忘れっぽく、どんな夜もぐっすりと眠ります。ここ最近はおフロードバイクにすっかりハマってしまい、週末は仲間と山遊びに興じています。空気が澄み、土のおいがする自然に身を置き、子どものように泥んこになるまで遊ぶと、ちょっとした悩みもどこか遠くへ行ってくれます。あとダイエットも。確か2月に行われたメンバースピーチ例会で宣言したと思いますが4月末現在、なんと9kgも減量しました。が、医師を除けば、だれひとり気づいてくれません。先のことはわかりませんが、いろいろなことに恵まれている今、とても幸せだなと感じています。



1. 三条YMCA会館新型コロナウイルス感染拡大防止対応

三条YMCA会館では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月6日(水)まで、保育園、学童保育以外のイベント、貸館等の中止や休講・受付業務の縮小措置をとっています。ご理解ご協力をお願いいたします。5月7日(木)以降につきましては、各クラブ会長(またはメール委員)宛てに改めてご案内いたします。不明な点は、ys@kyotoymca.org まで、お問合せをお願いします。

2. #はなれていてもつながっている YMCA新型コロナウイルス拡散・感染防止キャンペーン

全国のYMCAでは、新型コロナウイルス拡散・感染防止のため、「#はなれていてもつながっている」キャンペーンをおこなっています。若者を中心とした層に、新型コロナウイルス拡散防止のための、不要不急の外出、イベント参加などを中心とする行動を自粛するよう、積極的に伝えます。詳しくは、日本YMCA同盟Webサイト <https://www.ymcajapan.org/> をご覧ください。

4月度 役員会報告

報告事項

●6月第一例会までの例会並びに事業は、全て中止といたします。

承認された事項

5月 スケジュール

ワイズメンズクラブの事業は、東日本区も西日本区も全て中止となりました。

5月 Happy Birthday

11日 澤田 哲平

編集後記

とうとう、4月第一例会より、例会も事業も、廣井杯ゴルフコンペを除いて、全て中止となりました。そんな中、せめてプリテンだけでもと思い発刊いたしました。全人類を巻き込んで猛威を奮う新型コロナウイルス、終息したその先の世界は、どのように変わっていくのだろう。先進国のグローバル化は足踏み始め、できるだけ自前で賄おうとするのか。



目に見えない新型コロナウイルスは、私たちの生活のどこにでもいます。例えば、握手やハグを控えるのと同じように、人が集まる場所に出向くのを控えましょう。今このような時だからこそ安全で健康に暮らすために自分を思い、他人を思いながら行動しましょう。でも、忘れないで、

**安全のために、はなれていても
わたしたちはつながっています**

ポジティブネットは、互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善量や前向きな気持ちによってつながる、YMCAが提唱するネットワークです。

